盛岡YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.021 2019

YMCA News 11

2019年11月10日発行
特定非営利活動法人
盛岡YMCA
〒020-0015
盛岡市本町通3-1-1
Tel 019-623-1575
Fax 019-623-1579
www.moriokaymca.org
発行人/濱塚　有史
編　集/本部事務局

「楽しかったチャリティーバザー」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
17 パートナーシップで目標を達成しよう

今回のバザーでは、様々な物品が売られる中で、屋台を担当させていただきました。

屋台コーナーでは、富士宮焼きそばや、からあげ、ポテトやうす焼き、ひっつみ汁と、たくさんのおいしそうな物がありました。この中でも富士宮焼きそばが一番売れていました。

反省点としては、予約システムの使いすぎかなと思います。特に揚げ物のポテト、からあげはとても予約が多かったです。5～10分でできるというものの、実際には10～20分待って頂くこともあったので、もし、来年も同じようにするなら、工夫をした方がいいかなと思いました。

他のコーナーについてです。おとなりのゲームコーナーは、売っていて声が聞こえるほどの盛り上がり！内心、「楽しそうだな…。」と思っていました。他にも自作？のめいろや、スーパーボールすくいも、小さい子が何回も挑戦している姿がとてもかわいかったです。

毎年人気のきっさも、盛り上がっていましたね。

わたあめなんて、いつ見ても長だの列でびっくり！また、大人なコーヒーにジュース！冷蔵庫にあってキンキンで出てくるジュースはかくべつにうまい！人気の理由が分かる…。

最後にバザーコーナー。みんなから集まった思い思いの品がいろんな人に役立てられると思うと、とても大切な場だなとしみじみ感じました。ちなみに僕はグラスを7つだけ買っていきました。父も母もお酒好きだからシャンパングラスも。

まあ、とりあえず楽しかったです！9じから5じでもいいと思う…。ほど本当に楽しかったです！最後まで読んでくれてありがとうございました。

ぷらいむ・たいむ向中野校ＯＢ
井上　鼓動

盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。
1．こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2．家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3．共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

10月サンデー フォーチュンクッキーを作ろう!

サンデーディレクターを務めていますにぼしです。10月サンデースクールでは、幼児～小学5年生までの子どもたち19人とリーダー・スタッフ14人で、フォーチュンクッキーを作りました。今回はただクッキーを作るのではなく、おみくじも自分たちで作ることも魅力のひとつでした。どのようなおみくじを作ったかはまだ内緒!さあクッキングスタートです!最初の難所は卵を割り、白身と黄身に分けるところです。うまくいくグループもあれば黄身と白身が混ざってしまい大苦戦するグループもありましたが、失敗なんて関係なし!みんな楽しそうに料理をしていました。

続いての難所はクッキーをフライパンで焼くところです。うまくひっくり返せるか不安なリーダーをよそに「一人でできるもん!」「私もやりたい!」と積極的に取り組み、上手にクッキーを焼くことができました。そしてみんなが一番楽しみにしていたであろう、クッキーを食べる時間がやってきました。クッキーを食べると中から個性的なおみくじが出てきたようです。今回のフォーチュンクッキーづくりでは、みんなが幸せな気持ちになれるようなおみくじを作ることにしていたので、幸運なおみくじがたくさんありました。「大吉!」、「白馬の王子様が現れる!」、「テストで100点取れる!」などの幸運のおみくじや中には自分の名前が書いてある面白いおみくじが出てきて、それらを話題にしながら楽しく食べることができました。

みんなで幸せのフォーチュンクッキーづくりを楽しむことができました。これからもサンデースクールでみんなと一緒に楽しんで活動していきたいと思います。次回も楽しみにしています!

岩手大学2年　榊原夢花(にぼしリーダー)

盛岡YMCA チャリティーバザー

10月14日(月・祝)、YMCA向中野センターにて盛岡YMCAチャリティーバザーが行われました。この日は、総勢27名の当日ボランティアが参加し、屋台コーナー、ゲームコーナー、喫茶コーナー、バザーコーナーの4つのコーナーに分かれて接客・販売を行いました。

当日の会場には、お客さんとして約130名もの方がご来場くださいました。YMCAの学童に参加している小学生、YMCAのOB・OGの中学生や高校生、保護者、リーダー、スタッフ、ワイズメンズクラブの様々な世代のボランティアと、地域の方が関わり、今年もにぎやかなバザーとなりました。中には、今回のボランティアとして参加することで、楽しさを感じ、それが自信につながった子もいました。「学童を卒業するまで毎年バザーのボランティアに参加し、わたあめを作りたい!」と言ってくれました。誰かのために、楽しみながら自分の時間とエネルギーを使えることは、とても素敵だなと感じました。

今回のバザーの収支についてですが、収入が107,609円、支出が44,624円、収支差が62,985円となり、純粋なバザーの収入では、過去最大の金額を集めることができました。

バザーの益金は、2016年に発生した熊本地震の被災地支援として、熊本YMCAへ送金致します。大きく分けて、仮設団地の支援や、阿蘇地域の農業復興支援、子どもの心のケアプログラム・キャンプなどの「地域コミュニティの復興支援」と熊本YMCA各拠点の施設改修費や、運営費、人件費などの「熊本YMCAへの支援」の2つに使用されます。

今年も多くの皆様のご協力のもと、沢山の笑顔や活気のあふれるバザーとなり、熊本の方たちへの支えとすることができました。バザーに協力して下さった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

向中野センター副センター長
尾形　裕一郎

国際協力募金　キックオフ

今年もYMCA国際協力募金の季節がやって参りました。YMCAの国際協力募金は、全国のYMCAが共同して毎年実施されています。昨年度は全国のYMCAで45,879,789円の募金が寄せられ、盛岡YMCAでは26,5047円の募金が寄せられました。こうした募金は、YMCAのグローバルなネットワークを活かし、世界各国のYMCAにおける支援活動に使われます。盛岡YMCAでは、これまで、国際協力街頭募金、チャリティーコンサート、フリーマーケット、チャリティーバザー、チャリティーフットサルなどの活動を行い、その益金をアフガン難民のための学校設立運営、タイ農村部における人身売買からこどもたちを守るプロジェクト等に送金してきました。

今年度の募金の使途は、インドのタルミナドゥ州にあるセント・ボニファス・アンバハムへの支援です。セント・ボニファス・アンバハムは、貧困のため家族と暮らせない子どもたちのための施設です。学校に通うお金や、生活費がないため自給自足で生活しています。また、子どもたちが将来仕事に就ける様に、教育支援や就労支援を行っています。

国際協力募金の受け入れ期間は、11月1日(金)～1月31日(金)となります。皆さまから寄せられた募金は、セント・ボニファス・アンバハムの運営費支援、施設に通う子ども達への就学支援等として、日本YMCA同盟を通しての支援とさせて頂く予定です。どうぞ募金へのご協力をお願い致します。また、11月23日(土)には国際協力街頭募金活動を、大通りを中心に行います。昨年度は、約60名の方が、当日ボランティアとして参加して下さいました。今年も多くの方々と共に、元気に活動していきたいと思います。

2019年度も国際協力募金活動へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

国際協力募金担当　中村圭一

ウィンタープログラム　2019

盛岡YMCAのGパンです。私から今年の冬に行われるウィンタープログラムの紹介をさせていただきます。今年の冬も楽しいプログラムが待ってますよ！参加したことある人も、今まで参加したことがない人も今年の冬は盛岡YMCAのウィンタープログラムで盛り上がりましょう！！

～ジュニアスキーキャンプ～

日時：2019年12月27日(金)～12月29日(日)　2泊3日
場所：八幡平パノラマスキー場
定員：50人　(最少催行人数：20人)
料金：会員39,000円、一般41,000円
集合解散場所：盛岡駅西口バスターミナル
対象：幼児～小学生

2019年の締めくくりとなるこのキャンプ！昨年度まであったエンジョイスキーキャンプ、ジュニアスキーキャンプが合体し、定員も一気に増加！たくさんの人数でやるからこその楽しさ、たくさんの人数だからこその出会い、それらがつめこまれているのがこのキャンプです！スキーをしたことがなくても大丈夫！ブーツをはくところから板をはいてリフトにも1人で乗ることができるようになります！雪を自在に乗りこなして、スピード感も楽しめる、運動が苦手という子でもコツさえつかめば誰でも滑れるようになるスキー！スキーをしたことがある人も、ない人も楽しめること間違いなし！

～日帰りスキー教室～

日時：2020年1月19日(日)
場所：八幡平パノラマスキー場
定員：40人　(最少催行人数：15人)
料金：会員9,000円、一般10,000円
集合解散場所：八幡平パノラマスキー場(現地集合解散)
対象：幼児～小学生

今年の日帰りスキー教室は3学期直前！スキーを滑れるようになって、周りの友だちをびっくりさせちゃおう！八幡平はコースも長くないから初心者にはぴったり！頂上まで行けば長いコースも楽しめます！スキーの楽しさを1日で思いっきり感じよう！日帰りだから、宿泊が少し不安な人でも気軽に参加することができます。迷ったらぜひチャレンジしてみてください！

～ダイナミックスキーキャンプ～

日時：2020年1月11日(土)～1月13日(月)　2泊3日
場所：安比高原スキー場
定員：40人　(最少催行人数：15人)
料金：会員39,000円、一般41,000円
集合解散場所：盛岡駅西口バスターミナル
対象：小学生～中学生

数々の大会も行われてきた「安比高原スキー場」を滑ることの出来るキャンプ！自分たちのレベルに合ったコースを選び、広いゲレンデをとにかく滑ります！中・上級者のみならず、もちろん初心者の人も広いゲレンデで練習し、頂上から滑って降りてくることも夢じゃない！全部のコースを滑ってこようと思ったら、3日じゃ足りないかも！？楽しいコース盛りだくさんの安比高原で冬休み最後で最高の思い出を作りに行こう！

これらのウィンタープログラム、興味がある方はお気軽にお近くの盛岡YMCAまでお問い合わせください！たくさんのご参加お待ちしております！

ウィンタープログラム担当　向平悟

ポジティブネット⑫

16 平和と公正をすべての人に

「柳は緑、花は紅」

僕の心を1枚、1枚タマネギの皮をむくように剥がしていくと、そこには「傲慢」という輩が鎮座している。このやっかいな奴は「僻（ひが）み」「妬（ねた）み」「嫉（そね）み」がブレンドされて生まれてきたらしく、「見栄」「自己顕示」「自惚れ」「威圧」「わがまま」「不遜」といった強烈なエネルギーを放出するそうだ。

古い記憶をたどると、3歳くらいの時には既に自分の心の中に住んでいたように思える。普段は他人に気づかれないように努力して隠しているが、油断をすると日常生活のいろいろな場面でしゃしゃり出てきて、僕に言わなくていいことを言わせたり、イライラさせたりするのだ。そうした後は必ず後悔する。

かれこれ60年近くこの「傲慢」に付き合ってきていると奴の弱点も多少なりともわかってきた。自分と他者を比較すると生き生きと活発になってくる一方、素直に他者を「すごいなー」と認めたり、関心したり、「そんなこともあるよなー」と受け入れたりすると、途端に元気がなくなってくる。

だからと言ってこいつが僕の心から完全に消滅することはないだろう。僕の心が空っぽにならない限り長く付き合いながら生きていくしかない。何故なら奴も含めて僕は僕であるからだ。「柳は緑、花は紅」こんな言葉を残した昔の人ってすげーなあ。

「すべて重荷を負って苦労している者は私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。私は柔和で心のへりくだった者だから、私の軛（くびき）を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。私の軛は負いやすく、私の荷は軽いからである。」

（マタイによる福音書11章28節～30節）

盛岡YMCA　総主事　濱塚有史

インドで ビリケン・マックスが考えた⑥

10 人や国の不平等をなくそう

3月1日の朝5時、「Hey! Sister!」という声で起きると大勢の子どもたちが。窓の外に見えた無数の顔の衝撃は今でも忘れられません。そのまま子どもたちに連れられ礼拝へ。そこには240 人もの子どもたちが整列して礼拝をしていました。トリッチーのセントボニファス・アンバハムは一番の規模でした。大勢の子どもたちにもみくちゃにされ、「マックスカワイイ」と自己紹介すると素直な子どもたちは「カワイイ!」と呼んでくれました。

また、前に日本人から教わったという「茶摘み」の手遊びもしていて驚きました。子どもたちが学校へ行くと、寮母さんに施設内を案内されました。子どもたちが生活する各ハウスには○○ヴィラなどの名前がついており、寄付をしてくれたドイツ人の名前が名付けられていました。中は誕生日の表や曜日ごとの献立、おやつの表があり、学童のようでした。午後はヒンドゥー教の寺院と服屋さんへ。トリッチーの町並みは、たくさんの商店街があり、活気が溢れていました。どこに行ってもインド人と出会い、覚えたタミル語でコミュニケーションをとって楽しい時間を過ごしました。

次の日も早朝から礼拝に参加し、その後は子どもたちと遊びました。私はメイクや、歓迎の歌、ダンスをしてもらって楽しみました。女の子たちは、年上の子が年下の子の面倒を見たり、小グループができていたりと、本当に学童のようでした。忘れていましたが、彼らはこの施設がなければ学校にも行けない子どもたちです。それぞれ色々な事情を抱えながらも明るく暮らしています。ここでも施設の大切さを実感しました。夜は、子どもたちのダンスを見て、私たちからは日本の子どもの歌「パンダ・ウサギ・コアラ」などを教えて盛り上がりました。そしてまた別れが。彼女たちが「茶摘み」を教えてくれたように「パンダ・ウサギ・コアラ」とどこかで口ずさんでくれたら嬉しいです。そしてバスへ乗り込んでチェンナイへと出発したのでした。

岩手大学4年　東彩由海(マックスリーダー)

表紙の写真から

「ちきゅうと、あそぼう10月活動」　於：外山森林公園

3 すべての人に健康と福祉を

「落ち葉の絨毯は、ふっかふっかだね!!」　大人の何倍も、早く、深く季節を感じるのはこどもたちかも？

感謝

（2019年10月31日現在）敬称略

●維持会員

伊藤眞太郎、伊藤愛美、晴山浩輔、工藤悦子、今野健男、今野聖子、花田瞳、二戸貞文、鵜丹谷三千代、中島敬泰、家村知佳、押切梓、名古屋恒彦、名古屋理恵、増田隆、川坂保宏、伊藤信彦、大関靖二、南原良哉、伊藤眞一郎、伊藤みどり、高瀬稔彦、田村治之、遠藤昌樹、尾張幸久、飯島隆輔、林辰也、魚住恵、今松桂子、熊谷大樹、森山日菜乃、森山幹大、光永尚生、北田仁則、北田アユ子、東森聡、人見晃弘、尾形裕一郎、山口貴伸、井上修三、井上優子、井上浩太郎、長岡正彦、高橋友恵、水田賢次、澤田優美、平泉幸子、佐々木理香、藤原祐三、浅沼慧、浅沼美希、若井浮、及川茂夫、阿部深雪、上中優奈、植田一茂、松尾聡子、武田理恵子、佐藤洋一、菊地弘生、重石佳司、accommon、熊谷咲希、日詰教会、滝川佐渡子、淺沼誠久、高橋奈菜、水野暢夫、濱塚秋二、濱塚れい子、濱塚有史、濱塚真美、佐藤翔、古澤伸、向平悟、ちひろ、小川嘉文、濱塚直樹、恭子、小川明佑、廣川健太郎、厚子、はるな、野澤朋華、魚住英昭

●寄附金

晴山浩輔、工藤悦子、今野健男、今野聖子、家村知佳、南原良哉、伊藤眞一郎、伊藤みどり、田村治之、遠藤昌樹、尾張幸久、今松桂子、熊谷大樹、光永尚生、人見晃弘、及川茂夫、菊地弘生、日詰教会

最新情報はこちらでチェックできます！「盛岡YMCA」で検索ください。

ホームページ：https://www.moriokaymca.org/

facebook：https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/